

鳥井地区新規漁場開発調査

竹内四郎・勢村 均

1. 調査期日：昭和57年11月5日

2. 調査概要

当日の天候は曇，風向NE，風力1，波浪1，ウネリ1の穏やかな海況であったが，時々雨の視界やや不良の状況であった。

現地で説明を聞いた後，伝馬船に便乗して現場へ行き，3ヶ所潜水調査を行なった。

静間川からの採石による砂泥の流入で海藻の着生が少なくなっているということであったが，当日の調査では各地点共に砂泥堆積のあとは認められなかった。

漁場は10～30cm大の石が一面にあり，それにモク類，アマモ等が着生しているが，クロメは少ない。

沖の天然礁附近に淡水による「うるみ」現象がみられた。所々に岩礁があり（直径5～6m）それにはアマモ，モク類が着生（水深2～3m）し，砂泥による影響はみられない。

第1，第2表によると，坪刈りの結果， m^2 当り海藻着生量は640g～3,280gで，ほぼ平均している。

種類はほとんどモク類とアマモとテングサで単純な植生となっている。附近で採捕したクロアワビ6個体中放流と認められるものが2ヶで他は天然のものであった。アワビの他にウニとサザエもか

なり多く棲息していた。

この漁場へは52年度からアワビ稚貝を放流しているが，55，56年には5,000ヶ宛放流されているがかなり漁場が広いため，アワビの棲息密度はそれ程高くはない。餌はかなりあるので放流を更に継続して行なうべきと推

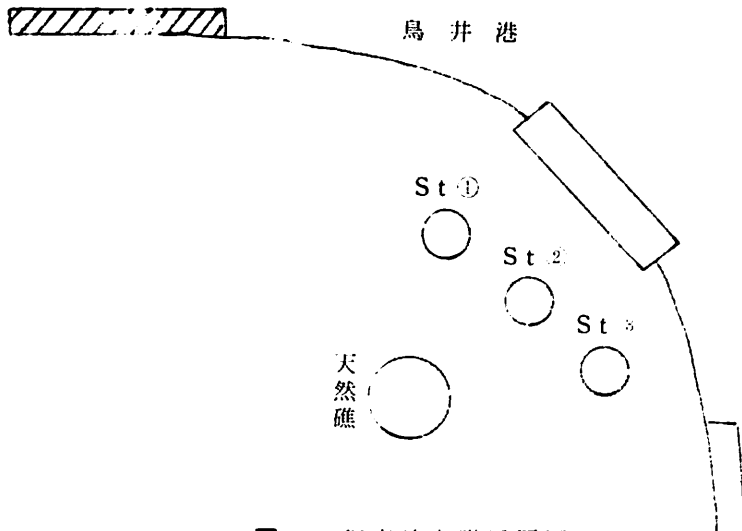


図1 調査地点附近要図

察される。

表1 アワビ測定値

種類	殻長	重量	備考
クロ	8.3cm (3.3)	78 g	放流
"	7.7 (3.5)	53	"
"	8.5	55	天然
"	7.5	43	"
"	7.5	45	"
"	10.0	110	"
トコブシ	6.7	38	"

()内は放流時殻長

表2 坪刈り表

		St①	St②	St③
海 藻 類	ノコギリモク	480 g	2,080 g	400 g
	イソモク	4		
	ヤツマタモク			
	トゲモク			
	コブソゾ	20		
	ハネソゾ			
	マクサ	40		
	オニクサ	8		
	ムカデノリ			
	ツノマタ	4		
	イギス			
ハイテングサ				
アマモ	1,280	1,200	4	
貝 類	トコブシ		1ヶ	
	アワビ(クロ)		3	
そ の 他	スナヒトデ		1	
	カニ			1ヶ